R6年度の取組み ～ R5年度厚労省モデル地域事業の取組みを継続実施 ～

医療依存度の高い在宅療養者（人工呼吸器を使用しているALS患者）の「個別避難計画」のモデル作成を通し、災害時における効率的な安否確認や情報共有、避難先の調整等の課題に対し、具体的な対応策を検討するとともに、今後の在宅療養者の個別避難計画の作成拡大につなげていく。

第2回 地域BCP策定に向けたワーキンググループ

○日 時：令和6年5月27日（月）19時～

○場所：柏地域医療連携センター研修室

○内 容：個別避難計画のモデル作成に向けた計画書等のフォーマット案及び調整や確認が必要な項目（非常用電源、安否確認等）についての意見交換

○構成団体：柏市医師会、柏市訪問看護ステーション連絡会、柏市介護支援専門員協議会
柏市介護サービス事業者協議会

〈行政〉防災安全課、福祉政策課、障害福祉課、地域医療推進課（事務局）

【議事概要】

- 在宅で人工呼吸器を使用しているALS患者2名の個別避難計画を、訪問看護師が中心となり作成
- 安否確認は、訪問看護師が担当する（情報共有の方法は計画作成の中で検討）
⇒医療機器販売業者も安否確認を行っており、情報共有ができる仕組みづくりを検討できるとよい
- 非常用電源に関し、指定避難所や福祉避難所において、医療機器の使用を想定した非常用電源の準備ができていない現状がある
⇒人工呼吸器や在宅酸素の患者の受入れが可能な、非常用電源設備のある場所の確保が必要

今後の予定

R6.7～9月 個別避難計画のモデル作成

R6.10月頃 第3回ワーキンググループ（モデル作成の状況を踏まえた課題の整理、検討）